

しりべし経済レポート

Vol.115
(令和7年6月発行)



財務省 北海道財務局 小樽出張所

URL <https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/otaru/index.html>

希望ある未来へ 地域と歩む 北海道財務局

目 次

総 括 判 断	1
個 人 消 費	2
観 光	4
住 宅 建 設	6
公 共 工 事	7
生 産	7
雇 用	8
【 参 考 】	
金 融	9
企 業 倒 産	10

＝利用に当たっての注意＝

- ・数字の単位未満は原則として四捨五入としているため、合計と内訳の計、表中記載の前年比と表上での算出前年比が一致しない場合がある。
- ・本指標は本レポート発行時に公表されているデータを基に作成しており、原則としてその後のデータ提供先による修正を反映していない。

1. 【令和7年1月～3月期 総括判断】

管内経済は、持ち直している

	前回（6.10～12期）	今回（7.1～3期）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

2. 【各項目の判断】

	前回（6.10～12期）	今回（7.1～3期）	前回比較
個人消費	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
観光	回復しつつある	回復しつつある	
住宅建設	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	
公共工事	前年を下回る	年度累計では前年を上回る	
生産	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
雇用	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	

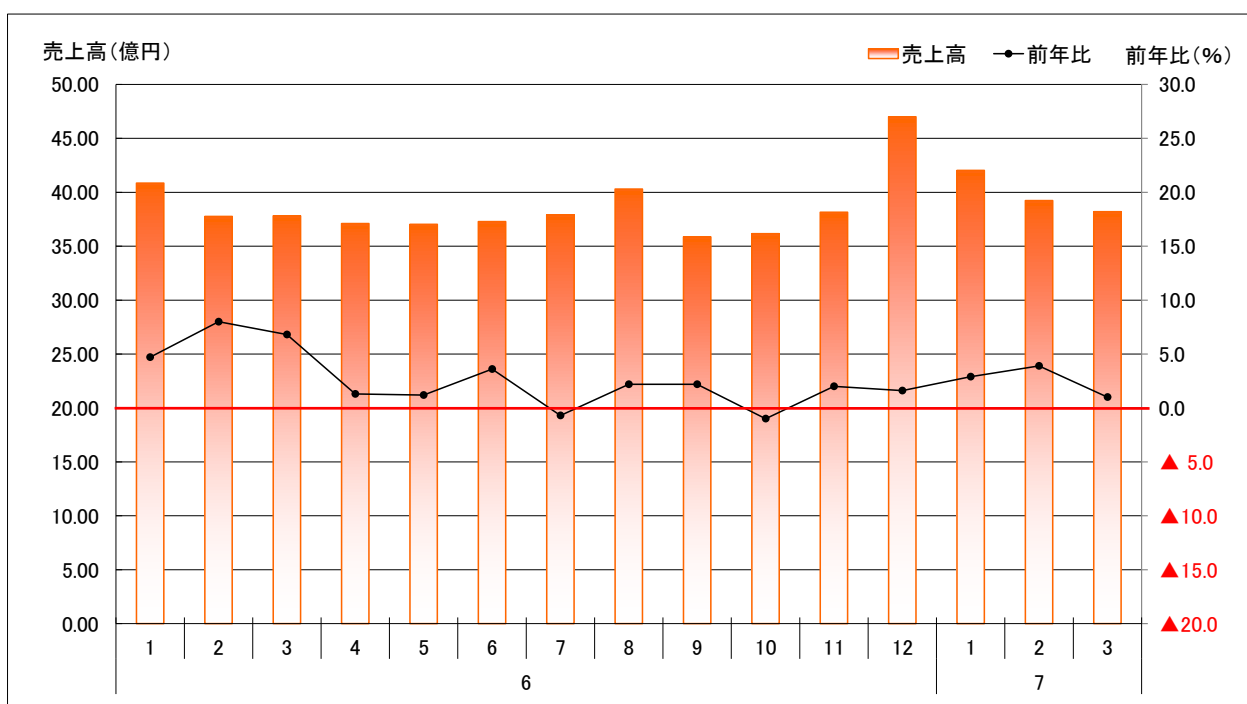
【個人消費】

持ち直しつつある

主要小売店売上高は、物価高による節約志向から厳選購入する動きが見受けられるが、春節や円安の影響による冬の観光需要でインバウンド消費が好調であり前年を上回っている。

新車登録・届出台数は、前年の認証不正問題によって限られた車種のための販売であったことから、反動増によって前年を上回っている。

主要小売店売上高

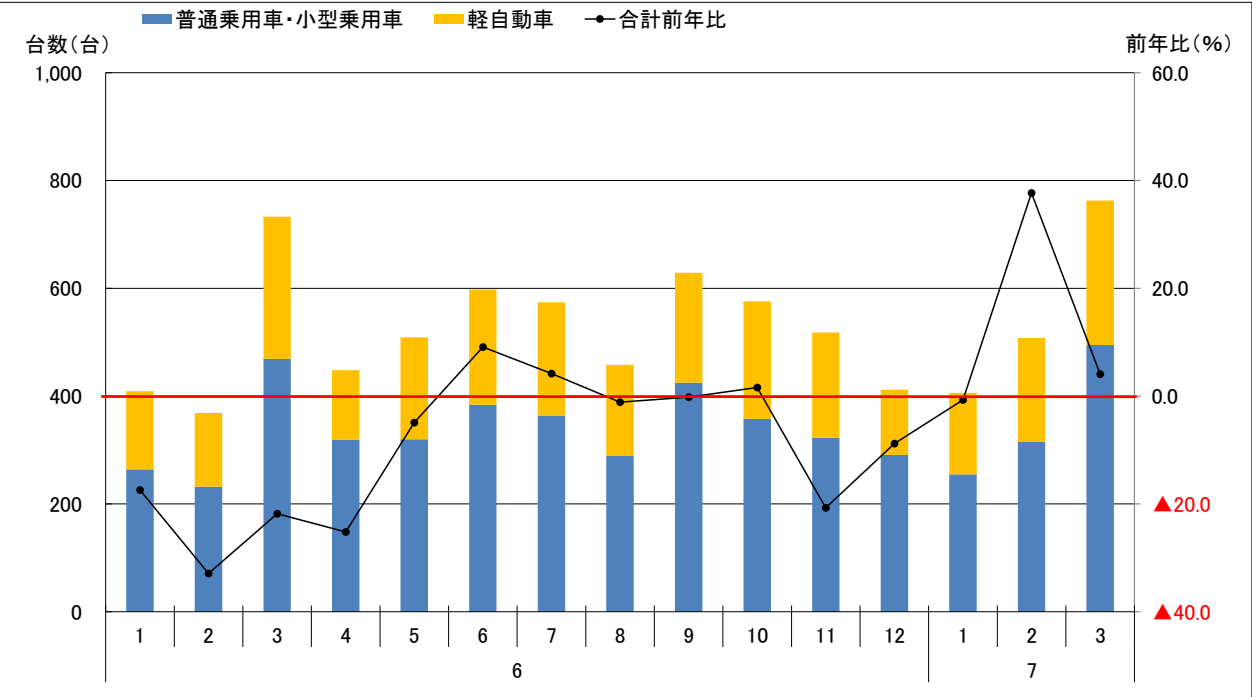


(単位: 百万円、%)

	合計		うち飲食料品		うち衣料品	
		前年比		前年比		前年比
5年	45,145	5.4	29,485	5.4	1,314	▲ 1.8
6年	46,321	2.6	30,350	2.9	1,232	▲ 6.2
6. 1～3	11,642	6.5	7,842	7.2	271	▲ 9.0
4～6	11,141	2.0	7,195	2.0	305	▲ 10.6
7～9	11,407	1.2	7,513	1.1	294	▲ 2.0
10～12	12,131	0.9	7,799	1.5	362	▲ 3.4
7. 1～3	11,946	2.6	8,013	2.2	266	▲ 1.8
6年10月	3,616	▲ 1.0	2,348	▲ 0.5	108	▲ 9.8
11月	3,815	2.0	2,415	3.2	123	▲ 0.1
12月	4,700	1.6	3,036	1.7	130	▲ 0.5
7年1月	4,203	2.9	2,807	1.7	95	1.7
2月	3,923	3.9	2,671	4.2	72	▲ 6.3
3月	3,820	1.0	2,535	0.6	98	▲ 1.8

(資料) 北海道財務局小樽出張所

新車登録・届出台数



	合計		普通乗用車・小型乗用車		軽自動車	
		前年比		前年比		前年比
5年	6,980	13.9	4,434	17.3	2,546	8.4
6年	6,233	▲ 10.7	4,038	▲ 8.9	2,195	▲ 13.8
6. 1～3	1,511	▲ 23.8	965	▲ 23.7	546	▲ 23.8
4～6	1,555	▲ 7.6	1,023	▲ 6.3	532	▲ 9.8
7～9	1,661	1.0	1,078	3.6	583	▲ 3.3
10～12	1,506	▲ 9.9	972	▲ 6.2	534	▲ 16.0
7. 1～3	1,677	11.0	1,065	10.4	612	12.1
6年10月	576	1.6	358	6.5	218	▲ 5.6
11月	518	▲ 20.7	323	▲ 20.6	195	▲ 20.7
12月	412	▲ 8.8	291	▲ 0.7	121	▲ 23.9
7年1月	406	▲ 0.7	255	▲ 3.4	151	4.1
2月	508	37.7	315	35.8	193	40.9
3月	763	4.1	495	5.5	268	1.5

(資料) 北海道財務局小樽出張所

個人消費に関する生の声

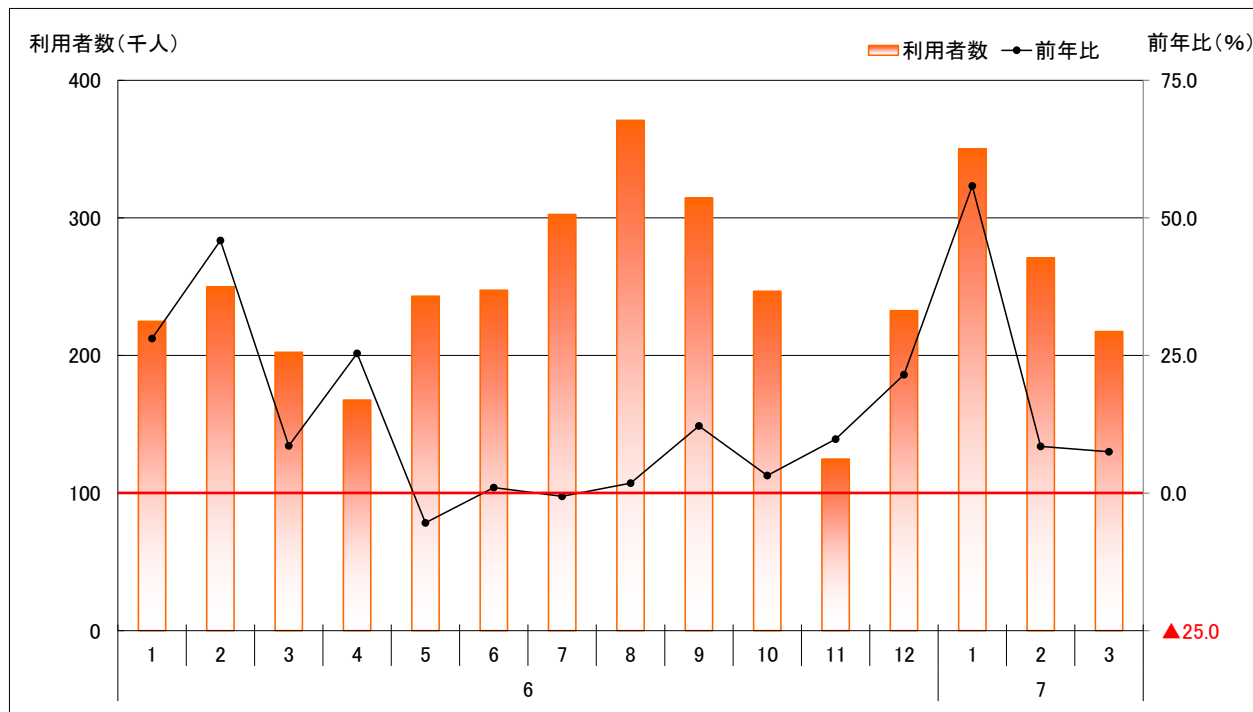
- ・顧客の購入点数は減少している状況であるが、客単価は物価高の影響があり前年よりも上回っている。(小売店)
 - ・リゾート地に滞在の欧米系外国人観光客が来店し、海産物や酒などの高価格帯の商品が購入された。(小売店)
 - ・円安の影響もあり、春節時期にアジア系観光客の来店が増加し、飲料や菓子などの商品が一度に大量購入された。(小売店)
 - ・調理簡便需要や米価格高騰のため、冷凍食品や弁当の売行きが良かった。(小売店)
 - ・正月は来店客数と売上増加を見込み準備をしたが、盛り上がりには欠け、来店客数、売上が前年より減少した。(小売店)
 - ・2月は大雪による悪天候や前年のうろう年の影響もあり、近隣からの来店客数が減少した。(小売店)
 - ・認証不正問題の影響で発売できなかった新型車の販売が順調であり、受注数が伸びている。(乗用車販売店)
 - ・車両本体価格の上昇のため車の買い替えサイクルが伸びており、継続車検のユーザーも多い。(乗用車販売店)
- 【先行き】
- ・セールなどの販促日では顧客の購入点数が増加するが、平日では購入点数の伸び悩みが見受けられ、引き続き生活防衛を意識した顧客動向になると思われる。(小売店)
 - ・認証不正問題が一段落して、新モデルの車種の発売によってユーザーの購入マインドが刺激され受注台数が増えており、今後も継続されると予想される。(乗用車販売店)

【観光】

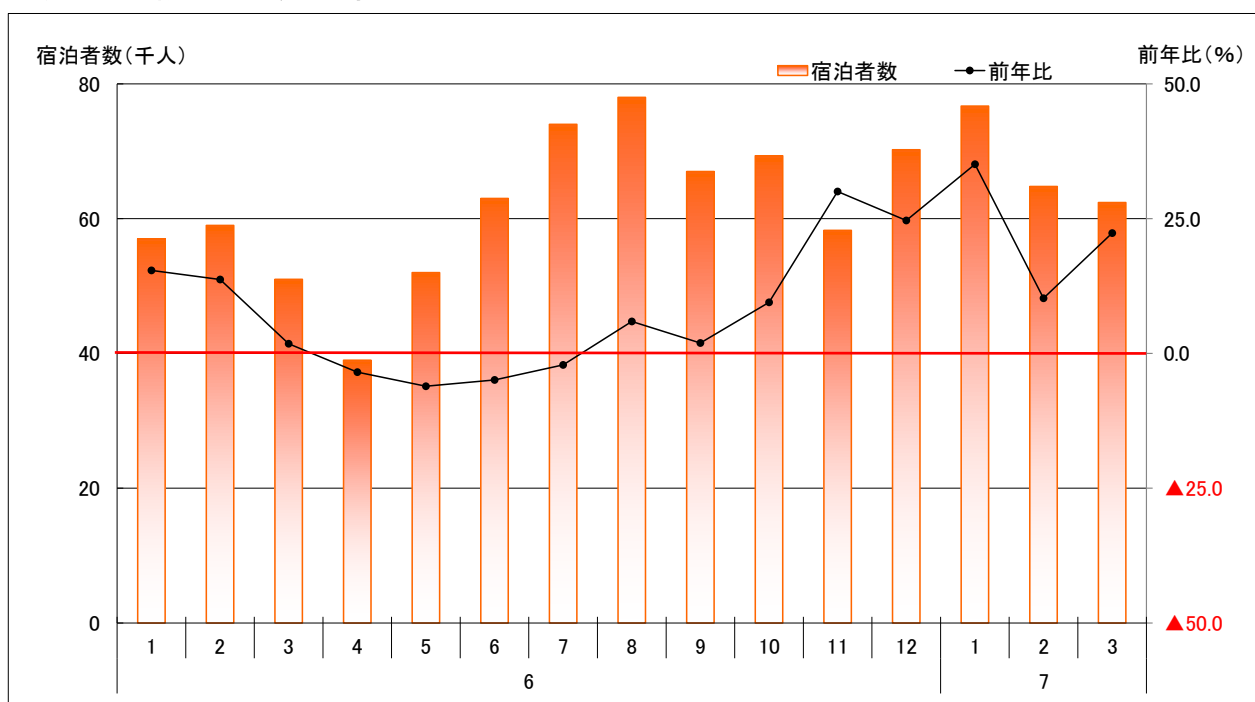
回復しつつある

主要観光施設利用者数及び主要宿泊施設宿泊者数は、円安の状況が続く中、スノーリゾートを利用する観光客等が増加した影響から、前年を上回っている。

主要観光施設利用者数



主要宿泊施設宿泊者数(小樽市)



(単位:人、%)

	主要観光施設 利用者数		主要宿泊施設 宿泊者数	
		前年比		前年比
5年	2,661,708	23.0	692,052	35.1
6年	2,926,978	10.0	736,979	6.5
6.1～3	676,968	27.0	166,550	10.3
4～6	658,125	3.5	154,136	▲ 4.9
7～9	987,911	4.1	218,469	1.9
10～12	603,974	11.0	197,824	20.3
7.1～3	838,613	23.9	203,878	22.4
6年10月	246,686	3.2	69,332	9.5
11月	124,710	9.8	58,266	30.0
12月	232,578	21.5	70,226	24.7
7年1月	350,244	55.8	76,705	35.1
2月	270,951	8.5	64,779	10.3
3月	217,418	7.5	62,394	22.3

(資料)小樽市、北海道財務局小樽出張所

※主要観光施設利用者数は、集計対象施設を見直したため、過去に遡って人数及び前年比を再計算している。
そのため、以前までの数字と連続しない。

観光に関する生の声

- ・国内スキー大会の開催や、韓国及びタイなど複数団体客を受入れたことから、全体の利用者数が前年を上回った。(観光施設)
- ・春節と雪あかりの路等のイベントの日並びが良かった影響から、1月及び2月の来館者数が前年を上回った。(観光施設)
- ・ロケツーリズム効果や、海外SNSを通じて当施設の認知が拡大した影響から、中国人観光客を中心に全体の利用者数が前年を上回った。(観光施設)
- ・中国人向けビザ要件の緩和や、前年同期より新千歳空港の国際線が増便している影響から、中国人観光客が増加した。(公的機関)
- ・パウダースノーを複数のスノーリゾートで堪能することを目的とした長期滞在の欧米豪の海外スキー客が多かった。また、春節時期の中国人観光客と欧米豪のスキー客が重なった1月中旬～2月中旬は、宿泊者数全体の約7割を海外客が占めていた。(宿泊施設)
- ・今期の宿泊者数について、道外客が前年を上回った。要因は、円安の影響から、海外旅行を予定していた国内客が北海道旅行に切り替えたためと考えており、道外客の中でも特に卒業旅行生が多かった。(宿泊施設)
- ・小樽観光だけでなく、札幌方面及びニセコ方面に観光に行く拠点として当施設に長期滞在している海外客が多かった。その影響から、12月～2月までは満室に近い状態が続いた。(宿泊施設)

【先行き】

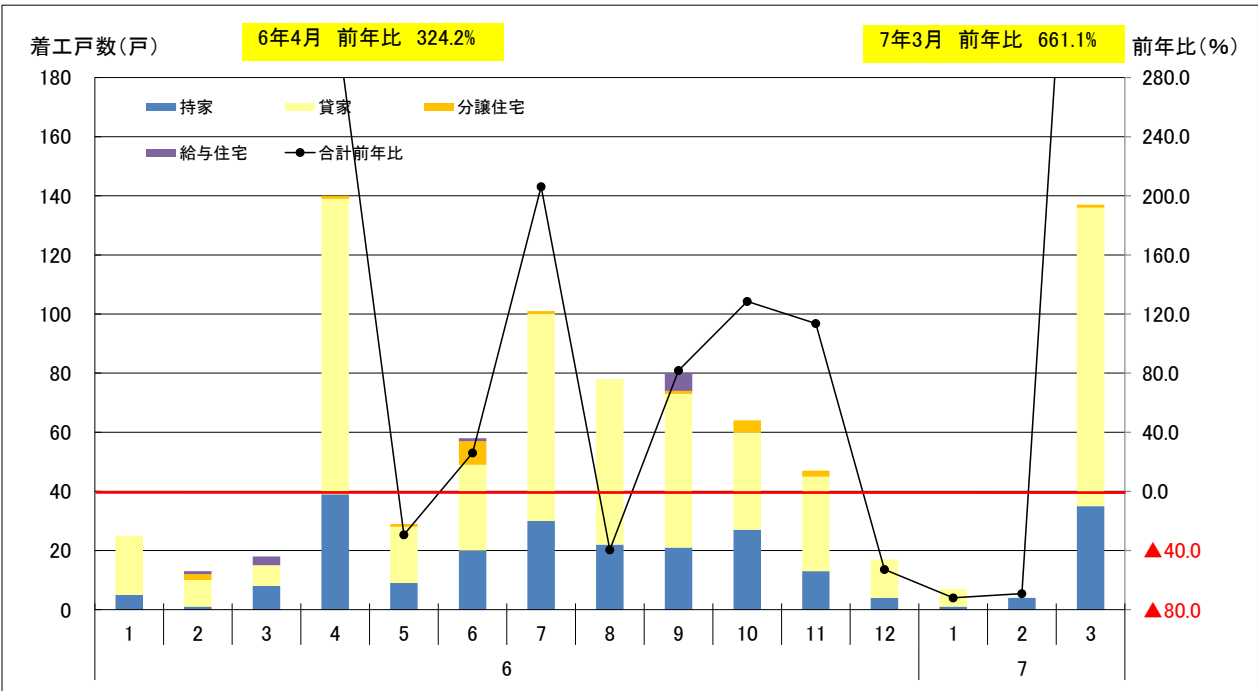
- ・4月以降は、国内客の割合が多くなるため、物価高の影響によって来館者数が減少していく可能性を懸念している。(観光施設)
- ・4月以降はGWの日並びが悪く、宿泊予約が少ない影響から、宿泊者数が前年を下回る可能性が高いと聞いている。(公的機関)

【住宅建設】

緩やかに持ち直しつつある

新設住宅着工戸数は、給与住宅と分譲住宅では前年を下回っているものの、持家、貸家が前年を上回っていることから、全体でも前年を上回っている。

新設住宅着工戸数(後志管内19町村)



(単位:戸、%)

	後志管内(小樽市を除く)									
	合計		利用関係別							
			持家		貸家		給与住宅		分譲住宅	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
6.1~3	56		14		36		4		2	
4~6	227	89.2	68	19.3	148	3.1倍	1	▲ 93.3	10	10.0倍
7~9	259	25.7	73	82.5	178	10.6	6	20.0	2	皆増
10~12	128	48.8	44	2.9倍	78	2.2倍	0	皆減	6	▲ 79.3
7.1~3	148	2.6倍	40	2.9倍	107	3.0倍	0	皆減	1	▲ 50.0
6年10月	64	2.3倍	27	4.5倍	33	65.0	0	皆減	4	皆増
11月	47	2.1倍	13	3.3倍	32	2.0倍	0	皆減	2	皆増
12月	17	▲ 52.8	4	▲ 20.0	13	皆増	0	皆減	0	皆減
7年1月	7	▲ 72.0	1	▲ 80.0	6	▲ 70.0	0	0.0	0	0.0
2月	4	▲ 69.2	4	4.0倍	0	皆減	0	皆減	0	皆減
3月	137	7.6倍	35	4.4倍	101	14.4倍	0	皆減	1	皆増

※令和6年4月から小樽市の新設住宅着工戸数は、国土交通省への計数報告に誤りがあったことから、上記のグラフと表から除外している。(資料)国土交通省

住宅建設に関する生の声

・町の経済活動が好況の影響もあり、地域のホテル企業等従業員の住宅需要の高まりから、賃貸住宅の建築が増加している。(公的機関)

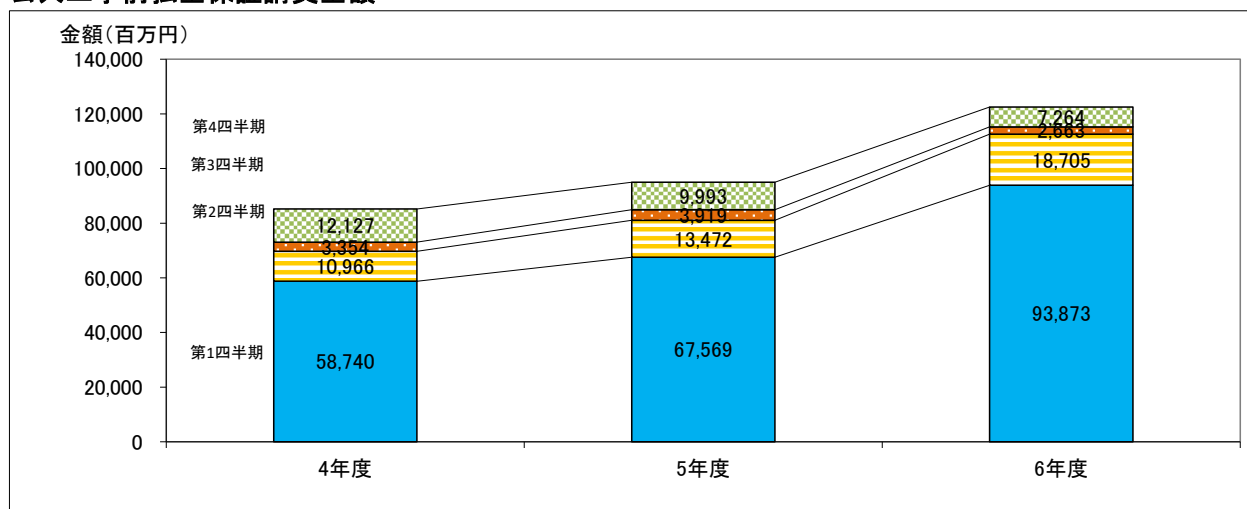
・需要はあるが高騰する建築費と地価により戸建を購入できる層が限られてきている。(建設会社)

【公共工事】

年度累計では前年を上回る

公共工事前払金保証請負金額でみると四半期合計（令和7年1-3月）は前年を下回っているものの、年度累計では前年を上回っている。

公共工事前払金保証請負金額



(単位: 百万円、%)				
	月間		累計(年度)	
		前年比		前年比
5年度	—	—	94,953	11.5
6年度	—	—	122,505	29.0
6.1～3	9,993	▲ 17.6	94,953	11.5
4～6	93,873	38.9	93,873	38.9
7～9	18,705	38.8	112,578	38.9
10～12	2,663	▲ 32.0	115,241	35.6
7.1～3	7,264	▲ 27.3	122,505	29.0
6年10月	1,938	▲ 31.4	114,517	36.5
11月	314	▲ 51.0	114,832	35.9
12月	408	▲ 9.2	115,241	35.6
7年1月	74	10.4	115,315	35.6
2月	276	▲ 74.3	115,592	34.3
3月	6,913	▲ 21.9	122,505	29.0

※四半期の数字は、端数の関係で単月3ヶ月の累計と一致しない。

(資料) 北海道建設業信用保証株

【生産】

持ち直しつつある

生コン出荷状況は、官需が前年を上回っているものの、民需が前年を下回っており、全体では前年を下回っている。

水産加工稼働状況は、昨年から続くコロナ5類以降後の観光客の増加で土産需要がある一方で、昨年豊漁であったニシンの不漁による原材料不足等から、低調となっている。

金属加工は、軌道整備にかかる部品の受注増加等から、好調となっている。
機械生産は、前年同期の受注量が多かったことによる反動減から、低調となっている。

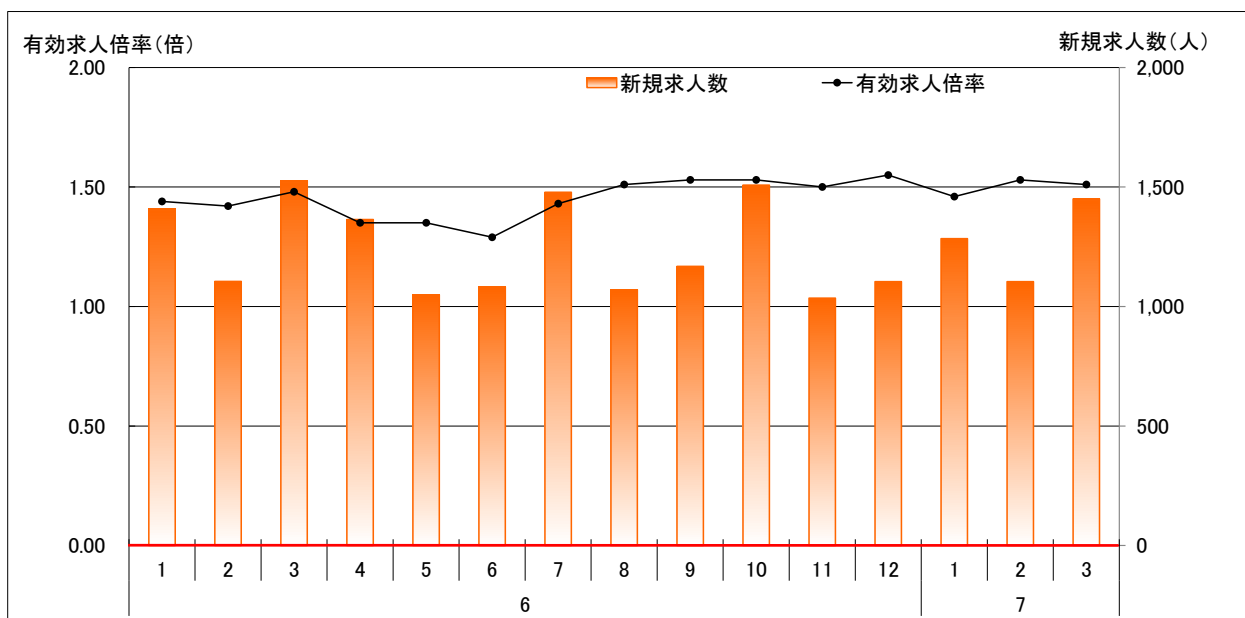
プラスチック製品は、前年同期の反動減から受注状況が回復したため、安定した操業となっている。
ゴム製品は、原料変更による一時的な原料不足等の影響から、低調となっている。

【雇用】

緩やかに持ち直している

有効求人倍率は、前年を上回っている。なお、有効求職者、有効求人数ともに前年を下回っており、有効求職者数の方が前年を下回っている。
新規求人数は、前年を下回っている。
ヒアリング先からは、民間求人媒体を積極的に利用している等の声が聞こえており、企業の求人意欲が高い状況は続いている。

有効求人倍率(常用・原数値)、新規求人数



(単位: 人、%、倍、ポイント)

	有効求職者数		有効求人数		有効求人倍率		新規求職者数		新規求人数	
		前年比		前年比		前年差		前年比		前年比
5年	31,493	▲ 1.3	45,540	7.1	1.45	0.12	6,992	▲ 1.5	15,935	4.7
6年	29,565	▲ 6.1	42,701	▲ 6.2	1.44	▲ 0.01	6,607	▲ 5.5	14,898	▲ 6.5
6.1~3	7,518	▲ 3.2	10,868	0.5	1.45	0.06	1,841	▲ 9.4	4,040	▲ 1.8
4~6	8,023	▲ 6.0	10,667	▲ 11.0	1.33	▲ 0.07	1,865	▲ 8.9	3,495	▲ 15.3
7~9	7,059	▲ 8.6	10,532	▲ 10.0	1.49	▲ 0.03	1,424	▲ 4.3	3,716	▲ 6.6
10~12	6,965	▲ 6.8	10,634	▲ 3.7	1.53	0.05	1,477	3.6	3,647	▲ 1.9
7.1~3	6,970	▲ 7.3	10,467	▲ 3.7	1.50	0.05	1,708	▲ 7.2	3,838	▲ 5.0
6年10月	2,387	▲ 6.3	3,645	▲ 6.8	1.53	▲ 0.01	534	3.1	1,508	▲ 2.3
11月	2,343	▲ 6.9	3,525	▲ 3.4	1.50	0.05	499	0.4	1,035	0.3
12月	2,235	▲ 7.1	3,464	▲ 0.5	1.55	0.10	444	8.3	1,104	▲ 3.2
7年1月	2,271	▲ 4.7	3,325	▲ 3.1	1.46	0.02	560	2.4	1,284	▲ 8.9
2月	2,231	▲ 11.3	3,403	▲ 4.7	1.53	0.11	479	▲ 19.4	1,104	▲ 0.1
3月	2,468	▲ 5.8	3,739	▲ 3.3	1.51	0.03	669	▲ 4.4	1,450	▲ 5.0

(資料)小樽・岩内公共職業安定所

※本指標は常用と常用パートの合計である。

雇用に関する生の声

・求職活動の多様化の影響から、有効求職者数が減少した。また、民間求人媒体の活用や外国人労働者の受入れを行い、労働者を確保している企業が多いことから、有効求人数も減少したと考えている。(公的機関)

・人手不足解消のために、春から新たにスポットワークを利用する予定。(製造業)

・高校求人の対象先に新たに普通高校も加え、2名新規採用に繋げた。採用後に資格取得の支援を行っている。(建設業)

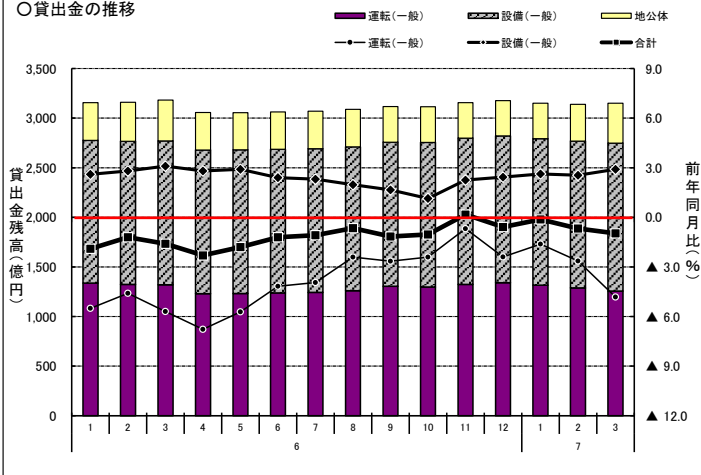
参考

【金融】

貸出金残高は前年を下回る

金融(貸出金)

○貸出金の推移



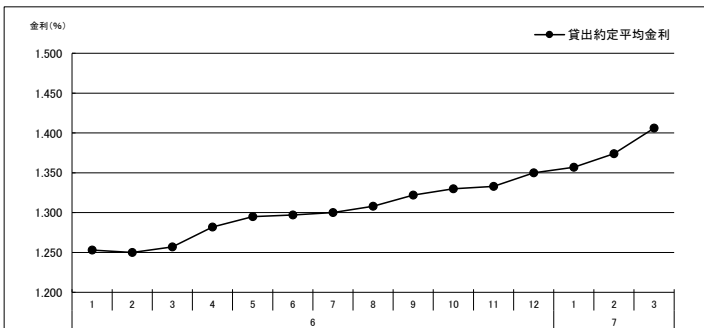
(資料)北海道財務局小樽出張所

	金額(百万円)				
	設備(一般)	運転(一般)	地公体	合計	前年比
6年3月	144,881	132,088	41,192	318,161	▲ 1.6
7年3月	149,090	125,726	40,266	315,082	▲ 1.0

6年10月	145,632	129,852	35,917	311,401	▲ 1.0
11月	147,486	132,447	35,610	315,543	0.2
12月	148,065	134,001	35,610	317,676	▲ 0.6
7年1月	147,607	131,591	35,910	315,108	▲ 0.1
2月	147,903	128,915	37,003	313,821	▲ 0.7
3月	149,090	125,726	40,266	315,082	▲ 1.0

(注) 1. (一般)は法人及び個人向けの貸出である。
2. 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫である。

金融(貸出約定平均金利)



(資料)北海道財務局小樽出張所

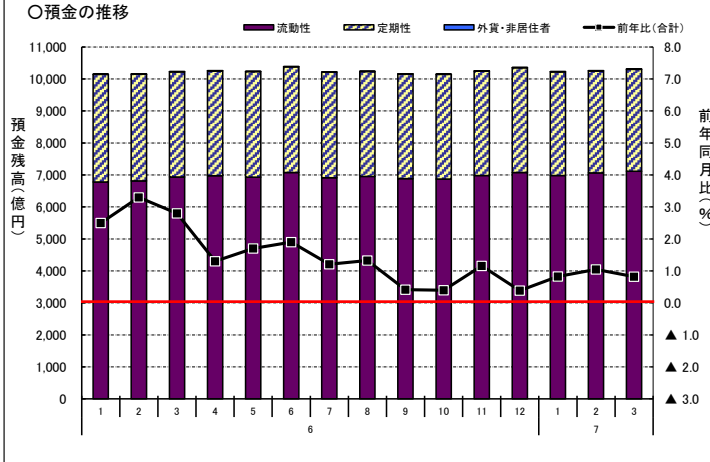
	金利(%)	前年差(Pt)
6年3月	1.257	0.016
7年3月	1.406	0.149

	金利(%)	前月差(Pt)
6年10月	1.330	0.008
11月	1.333	0.003
12月	1.350	0.017
7年1月	1.357	0.007
2月	1.374	0.017
3月	1.406	0.032

(注) 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、労働金庫である。

金融(預金)

○預金の推移



(資料)北海道財務局小樽出張所

	金額(百万円)				
	流動性	定期性	外貨・非居住	合計	前年比
6年3月	693,703	328,964	492	1,023,159	2.8
7年3月	711,771	318,813	956	1,031,540	0.8

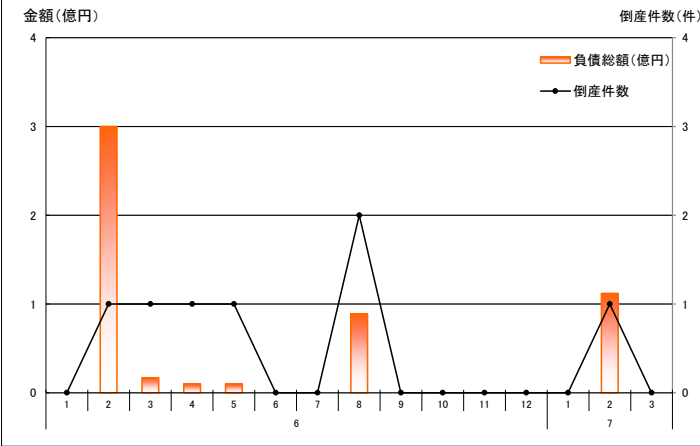
6年10月	687,346	327,245	628	1,015,219	0.4
11月	698,366	326,326	700	1,025,392	1.2
12月	707,833	327,499	710	1,036,042	0.4
7年1月	698,418	324,291	768	1,023,477	0.8
2月	706,518	319,083	875	1,026,476	1.0
3月	711,771	318,813	956	1,031,540	0.8

(注) 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、労働金庫である。

【企業倒産】

件数、負債総額とも前年を下回る

企業倒産(負債総額1千万円以上)



(資料)株式会社東京商工リサーチ

	倒産件数(件)	前年比	負債総額(百万円)	前年比
5年	13	2.2倍	1,947	16.9
6年	6	▲ 53.8	426	▲ 78.1

6.1～3	2	▲ 50.0	317	▲ 47.7
4～6	2	▲ 50.0	20	▲ 95.4
7～9	2	0.0	89	▲ 86.6
10～12	0	皆減	0	皆減
7.1～3	1	▲ 50.0	112	▲ 64.7

6年10月	0	皆減	0	皆減
11月	0	0.0	0	0.0
12月	0	皆減	0	皆減
7年1月	0	0.0	0	0.0
2月	1	0.0	112	▲ 62.7
3月	0	皆減	0	皆減

お問い合わせ先

財務省 北海道財務局

小樽出張所 財務課

〒 047-0007 小樽市港町5番2号 小樽地方合同庁舎

TEL 0134-23-4103

E-mail HKZJOTARUZAIMU@hk.lfb-mof.go.jp